

水田酪農の限界を打開し、酪農經營の大型化をはかると、このところ津山地方においても適地をもとめて、畜舎を移し、周囲の里山を開墾して大型酪農え再出発をはじめたものがすでに七人におよんでいる。

これらのひとびとの平均年令は、三三才と非常に若い。このうち二〇才台のものが三名いる。これは新しい酪農の方向をしめすものとして特に注目したい。

A君（二十九才）は昭和四十一年に父から成牛八頭の経営を引きつぎ、後継者資金を利用して、自宅から一傾向といえるものであるが、酪農のように



若人が展開する大型酪農経営

津山農業改良普及所

所長 福島 明

大型酪農

援助のため

アールである。水田に自給飼料の給源をもとめる酪農家の平均耕地面積は、一般農家よりさすがに多いことがうかがわれるが、しかし、このようない面積だけでは、裏小作などいろいろと手を打つてみても、時代の流れに対応する規模拡大には、こんなにちすでに限界にきていることを痛感するものである。

キロあまり離れた里山を手に入れ、そこに畜舎を建て、規模拡大に着手した。現在、成牛三三頭、育成牛一五頭に達し、年間搾乳量は、一五万八千キログラム、粗収入七九〇万をあげている。今後さらに育成部門を拡大して、高性能牛の増頭をもくろんで懸命にがんばっている。

H君（二三才）は、今年一月、自宅近くの水田三〇アールを売却して、二キロほど離れたところの里山四・五ヘクターレをもくろんで懸命にがんばっている。

限界を感じる水田酪農

大型酪農経営にいどむ農業後継者

中国総貫道が決まり、内陸工業地帯として着目されている津山地方は、都市化現象がすすみ、地価が高とうるなど、水田酪農として規模を拡大していくことに注目したい。

A君（二十九才）は昭和四十一年に父から成牛八頭の経営を引きつぎ、道メガロボリス地帯をはじめ、全国的な傾向といえるものであるが、酪農のよう

に障害が横たわってきている。このことは、津山地方に限らず、東海有耕地面積について例をあげてみると、津市の一戸当たりの平均耕地面積は七・五アール、酪農家の平均は一一・九アールとなっている。搾乳牛五頭以上で多頭飼育農家といわれる二〇戸を抽出して調査した耕地面積の平均は、一六一・五

アルを購入して、後継者資金で、そこに畜舎を移し、四〇頭を目標に飼料作物の栽培によって大型酪農経営に着手しはじめている。

S君（二十五才）もH君と前後して、大型経営樹立にとりこんでいる。彼も自宅手に入れて、飼育頭数四〇頭を目標に、牧草と飼料作物をとりいれたもので規模拡大をはかつっている。

より一キロあまりの里山六ヘクターレをもくろんで懸命にがんばっている。

Y君（二三才）もH君と前後して、大型経営樹立にとりこんでいる。彼も自宅手に入れて、飼育頭数四〇頭を目標に、牧草と飼料作物をとりいれたもので規模拡大をはかつっている。

これら問題を打開する道として、比較的地価の安い、しかも将来拡張の余地があるところを選び、規模拡大をはかるということは一つの方

向であると考えられる。

酪農が今日に至るまではいろいろな変革の過程をふんできているが、その都度、幾人かの若い青年たちが先導にたって、新しい局面を開拓して経営の近代化をはかつてきているのである。

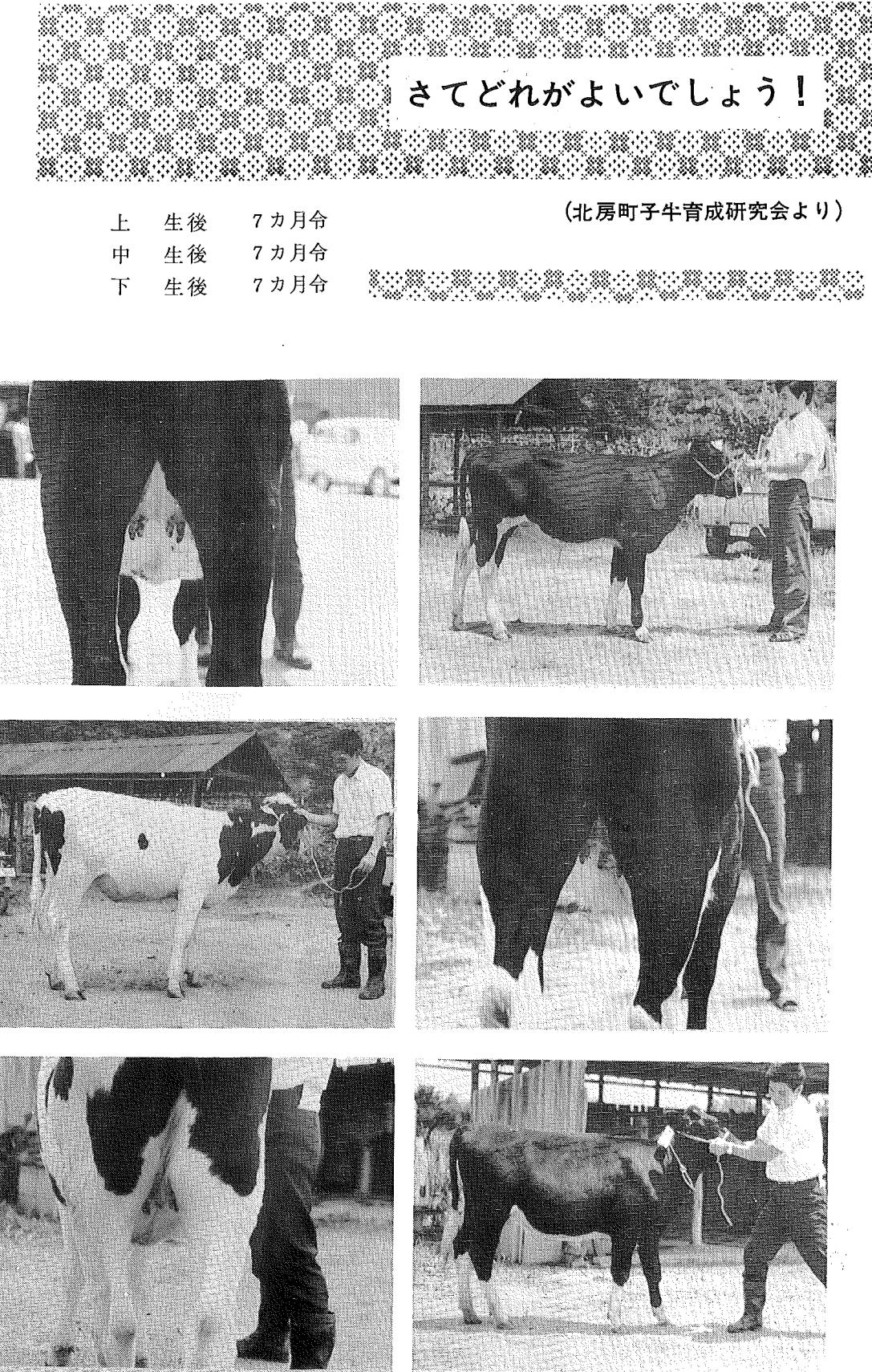
ちなみに、津山地方の多頭酪農家の所

では、地代負担などの点から経営の合理化はきわめてむつかしいこととなつてきただ。

この疎開酪農ともいべき局面打開の方法も、水田酪農の限界を感じた彼らが、自からの発想と、独自の力で行なってきたものであるが、やはり投資効率や、技術の集約化などの点から問題点をかかえているし、

さてどれがよいでしょう！

（北房町子牛育成研究会より）



第1表 試験期間と濃厚飼料の給与量

	放牧前規	夏枯期	放牧後期
期間	63日 (4.3.22~7.23)	28日 (7.24~8.20)	63日 (8.21~4.3.10.22)
濃厚飼料給与量	体重の0.5%	// 0.7	// 0.7

第2表 增体状

区分別	放牧開始時体重	各期1日当たり増体量			放牧終了時体重	増体量	1日当たり増体量
		放牧前期	夏枯期	放牧後期			
オーチャードグラス	238.3	0.39	0.64	0.61	319.8	81.5	0.52
ケンタッキー31フェスク	239.0	0.35	0.54	0.72	321.3	82.3	0.53
レッドドットップ	238.8	0.44	0.70	0.71	331.0	92.2	0.60

第3表 発育状況 単位(cm)

区別	時期	部位	体高	胸深	巾	胸闊	管闊
オーチャード グラス区	開始時		107.9	52.9	36.1	148.5	14.7
	終了時		114.7	57.8	40.8	160.1	16.8
	増加量		6.8	4.9	4.7	11.6	2.1
ケンタッキー 31フェスク区	開始時		107.4	51.2	36.4	146.3	14.8
	終了時		114.4	57.9	41.0	161.8	16.5
	増加量		7.0	6.5	4.6	15.5	1.7
レッドトップ区	開始時		108.9	52.3	35.9	147.3	14.8
	終了時		116.3	59.3	40.8	165.4	16.8
	増加量		7.4	7.0	4.9	18.1	2.0

第4表 濃厚飼料の摂取状況

区別	1日1頭当たり摂取量			1頭当たり平均摂取量	1日1頭当たり摂取量	1kg増体当たり摂取量
	放牧前期	夏枯期	放牧後期			
オーチャードグラス区	1.19	1.88	2.33	27.38	1.78	3.38
ケンタッキー31フェスク区	1.19	1.86	2.31	27.28	1.77	3.31
レッドトップ区	1.19	1.90	2.40	27.93	1.81	3.03
1頭当たり平均摂取量	レッドトップ区>オーチャードグラス区>ケンタッキー31フェスク区					
1kg増体当たり摂取量	レッドトップ区<ケンタッキー31フェスク区<オーチャードグラス区					

第5表 推定牧草採食量

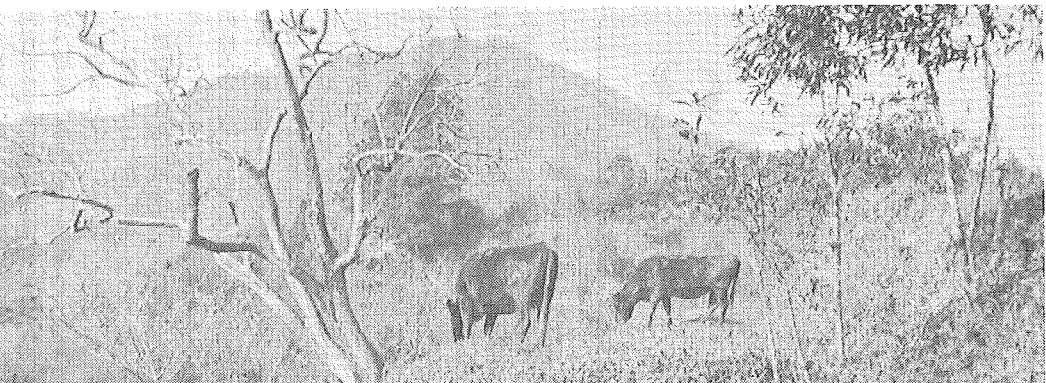
区別	1頭当り攝取量	1頭1日当り 攝取量	1kg増体当り 攝取量
オーチャードグラス区	5.32	1.3	35.6(5.8)
ケンタッキー31フェスク区	5.73	4.4	37.2(6.5)
レッドトップ区	6.10	2.2	39.6(6.4)

註：()内の数字は乾草換算

第6表 生 莖 产 莖 量 单位(kg) 10a 当 n

区別	5月22日	7月3日	9月5日	10月12日	計
オーチャードグラス区	2,063	1,848	1,098	240	5,249
ケンタッキー31フェスク区	1,274	2,560	1,360	222	5,416
レッドトップ区	1,248	3,269	1,192	243	5,952

施肥量 各区とも成分量で10a当り N 2.05 kg P₂O₅ 1.80 kg K₂O 1.05 kgとした。



和牛試験場だより

一、まえがき

研究員 黒田昭昌

地における放牧肥育試験」を行い、中国山地の急傾斜地においても、若干問題点あるにしても人工草地への放牧による肥

研究員 黒田 昭昌

三、試験の方法

省力管理と良質粗飼料の確保を目的として、草地放牧による肉用牛の若令肥育に関する試験が各地で行われ、その技術体系も確立されつつある。

当場においても昭和三十九年から二ヵ年にわたりて「省力管理による若令牛去勢牛の多頭肥育に関する試験（人工草地における放牧と刈取給与の比較）」を行った。その結果、若令牛肥育の前半を放牧で、後半を舎飼いして飼養するほうが、舎飼いで刈取給与するよりもむしろ揃つて発育し、しかも管理労力が後者の $\frac{1}{3}$ 以下であることがわかつた。

さらにについて、昭和四十一年から三年年にわたりて「急傾斜の簡易造成草地

しかし、これらの試験に供した草地はいずれも混播草地で、いわば慣行の草地である。そこで産肉性のより高い草種を選定し、さらにこれらの草種の組み合せにより放牧用適草種の選定と体系化のための第一年度の試験で、急傾斜の簡易造成の単播草地に黒毛和種若令去勢牛を放牧して行つた。

放牧試験に先だって、昭和四十二年度においてオーチャードグラス単播草地〇・八ha（播種量一〇a当り四kg）、ケンタッキー三・一フエスク単播草地一・二ha（播種量一〇a当り五kg）、およびレンドトップ単播草地一・五ha（播種量一〇a当り一kg）を簡易造成した。

放牧に用いた各区の草地面積は、オーチャードグラス区〇・八ha、ケンタッキー三・一フエスク区〇・九haおよびレンドトップ区一・一haであり、さらに各区ともその草地を三・四牧区に区分し、輪換方式で昼夜放牧を行つた。各区の面積を同一に規正しなかつたのは、それぞれの牧草の一〇a当り草量に差異があるため（牧量をオーチャードグラス四、五〇〇

放牧終了時 体 重	増 体 量	1日当り 増 体 量
319.8	81.5	0.52
321.3	82.3	0.53
331.0	92.2	0.60

放牧期間中の増体量および一曰当り增量を示すと第二表のとおりで、レッドトップ区が最も成績がよく、次いでケンタッキー三一ファスク区、オーチャードグラス区の順であつたが、三者間にたいした有意差はなかつた。

牛体の主要部位の発育状況は第三表のとおりで、増体量状況と同じようにレッドトップ区が最もすぐれていた。

四、結案

飼料は和牛検定用配合飼料を給与した。

立 (kg)	
頂 り 量	1 kg増 体 当 攝 取 量
8	3.3 8
7	3.3 1
1	3.0 3

-3 1 フエスク区
ードグラス区

果が他の二者に比し優れているという結果が出て、匍匐型牧草のほうが放牧に適していることを証明したが、オーチャードグラスの平均草量にあわせて、それぞれ予測される草量にもとづいて面積をとったため不同であったことと、生草産草量の一〇^a当たり収量が予測とは逆の結果に出ていることから、昭和四十四年度においては同一面積で同様の試験を行うことにしている。

なお今後、これらのイネ科牧草にマメ科牧草を加えた二種の混播による試験を続行する予定である。

三一「ブエスク」、レッドトップを選んだ。これはオーチャードグラスは戦後全国的に普及しもとも重要なイネ科牧草となつてゐることと、深根性であるため乾燥に耐え、また土質を選ぶことが少ないためである。ケンタッキー三一「ブエスク」も深根性で夏枯れに強く、だいたい南方向きでかつ傾斜地にも適するためである。兩者はいずれも叢生型である。これに対してレッドトップは匍匐型で、寒暑に強く気候風土によく馴化し、放牧地向きの

養鶏試験場だより

単飼および複飼ケージによる産卵試験

Poultry Science Vol. 47, No. 4 より抄約

(一九六七年一月ミシガン大学)

技師 上林 峯治

はじめに

産卵鶏のケージ管理と平飼い管理の産卵成績を比較した報告は多く見受けられるが、ケージの収容密度が産卵成績に与える影響について調査した文献は少ない。シャープとクイゼンベリー(一九六一)は一羽飼いと群飼ケージ(一室に二五羽収容)との産卵成績を比較した結果、一羽飼いのほうが産卵率とへい死率が明らかにすぐれる傾向が認められた。

ロードとヘイワング(一九六四)は二〇

・三cm×四五・七cm(一羽)、二五・四

cm×四五・七cm(一羽)、三〇・五cm×

四五・七cm(二羽)、六一・〇cm×四五

・七cm(五羽)の四種類のケージにより

試験した結果、複飼区は単飼区よりもへい死率が高く、増体量は大きくなつた。

また、三回試験して二回までは、収容密

度を増すにつれて産卵率(ヘンハウス)

が次第に低下することが分った。

ムーラー(一九六五)はケージの収容

密度は産卵率(ヘンハウス)と飼料効率

に大きく影響するが、へい死率には影響

がないと報告している。即ち、二〇・三

cm×四〇・六cmケージに一羽と二羽、四

羽および一羽当たり〇・一九m²の平飼いに

より試験したところ、二羽飼いの場合が

一ダース当たりの生産コストが最も低くな

つたと報告している。

養鶏業は低利潤であるため、養鶏経

営の中で用いられている現存の方法を再

検討する必要があるということはさけが

たい事実である。その一つが鶏の収容計

画であろう。

ケージの収容密度を高めることは、ケ

ージの単位面積当たりの収益を最大にする

ための一つの可能な方法であるので、本試験では二種類の鶏舎と五種類のケージにより産卵鶏の複飼管理に関する資料を得るために行なつたものである。

試験方法

一、供用鶏および試験区分

供用鶏は一九六五年一〇月七日飼付けの卵用鶏二、七八羽を用い、一二六日までケージに収容し、木造鶏舎、ゴジック式鶏舎のおおのについて表一のとおり試験区を設けた。

二、供用飼料

供用飼料は粗蛋白質含量が約一七%、一kgあたりの生産エネルギーが約二、二〇〇カロリーの市販の成鶏用飼料をオーラマッシュとして給与した。

三、管理

一二六日令の供用鶏を立体ケージに収容し、初生時と一二週令時にデビーケを行なつてある。なお点灯は日照、照明合計時間が一四時間になるように点灯した。

四、試験期間

一二六日令を一期として合計一二期(三六四日)産卵試験を行なつた。

試験成績の概要

一、産卵成績

試験期間中の産卵成績は表二のとおりで、全期間の産卵数(ヘンハウス)は一羽飼い区二二一・一個、二羽飼い区二〇四・〇個、三羽飼い区二〇八・三個、四羽飼い区二〇七・三個、六羽飼い区二〇三・六個で、単飼区は複飼区(一・六羽)に比べて一三・一七個多くなつた。また、単位面積あたりの産卵数は一羽飼い区に比べて、二羽飼い区一八七個

なることが分かつた。

(記者註) 産卵鶏の複飼管理については、わが国でもすでに試験が行なわれており、鶏舎構造、収容密度などにより産卵率、生存率などが異なることが認められている。なお、複飼管理試験成績の詳細については当場試験報告第七・一〇号を参照されたい。

表2 産卵成績(365日間)

	産卵率(ヘンハウス、%)			産卵個数 (1羽当たり、個)
	木造鶏舎	ゴジック式 鶏舎	平均	
1羽飼い区	60.60	60.85	60.72	2211
2 //	55.87	56.21	56.04	2040
3 //	57.43	56.99	57.21	2083
4 //	58.97	54.95	56.96	2073
6 //	57.81	54.06	55.93	2036

注) ゴジック式鶏舎とは屋根の先きがとがっており、舎内がアーチ式になっている建物

表3 卵重(g)および体重(kg)

	卵重(400日令)			体重(500日令)		
	木造鶏舎	ゴジック式 鶏舎	平均	木造鶏舎	ゴジック式 鶏舎	平均
1羽飼い区	61.7	61.1	61.4	20.3	20.0	20.2
2 //	62.7	61.7	62.2	19.6	20.4	20.0
3 //	61.9	61.4	61.7	20.8	21.0	20.9
4 //	61.9	62.4	62.1	20.4	20.7	20.5
6 //	61.2	62.1	61.6	21.4	20.5	21.0

高い死率は表四のとおりで、単飼区は複合区に比べて低い値を示したが、ケージの種類による差は認められなかつた。

高い死率は表四のとおりで、単飼区は複合区に比べて低い値を示したが、ケージの種類による差は認められなかつた。

① 全期間のヘンハウスの産卵数は単飼ケージより複飼ケージのほうが高く、

② 木造鶏舎はゴジック式鶏舎に比べて、一七個多くなつた。したがつて、鶏の収容密度は産卵率に影響すると考えられる。

③ 木造鶏舎はゴジック式鶏舎に比べて、とくに四羽および六羽飼いの場合にすぐれる傾向が認められたが、この原因は明らかでなかつた。(鶏舎の構造により産卵率が異なることが判明した。)

④ 体重(500日令)はいずれもケージの型

により差異がなかつた。

⑤ ケージの単位面積あたりの利益は、

むすび

二、卵重および体重

四〇〇日令における平均卵重および五〇〇日令時の平均体重は表三のとおりで、いずれも各区間に大きな差が認められなかつた。

木造鶏舎はゴジック式鶏舎に比べて、四羽飼い区と六羽飼い区の産卵率がすぐれる傾向が認められたが、この原因は明かではない。

三、へい死率

表4 へい死率(%)

	へい死率			羽数の欠けたケージの比率 (木造、ゴジック式平均)
	木造鶏舎	ゴジック式 鶏舎	平均	
1羽飼い区	22.92	12.50	17.71	17.71
2 //	19.79	25.00	22.40	40.62
3 //	18.06	17.71	17.88	47.40
4 //	16.14	22.66	19.40	60.42
6 //	18.40	23.78	21.09	78.64
	17.60	21.91	19.94	

第25回岡山県畜産共進会
10月7~8日 久世町の久世家畜市場で……

酪農試験場だよ

乳用雌子牛の哺乳について

(その一) 技師 遠藤茂樹

(2) 発育に関する六つの条件について
資料 DAIRY JAPAN' 67.4. P51

農林省畜試 鹿児島一
二、育成期間の高栄養は妊娠や泌乳に影響をおよぼす。

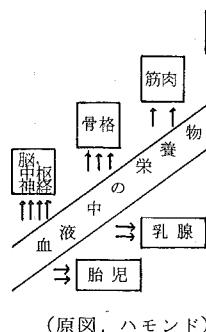
三、早く発育したものは、その後の発育がおそくなる。
四、育成期間の高栄養は妊娠や泌乳に影響をおよぼす。
五、育成期間に栄養が低過ぎたものはその後の回復が期待できない。
六、育成期間の飼料費は早期に発育を早くしたものほど多くかかる。

乳用雌子牛の育成に関する文献や資料は非常に多いが、雌子牛育成の場合、少しでも参考にしていただければと思いまし。

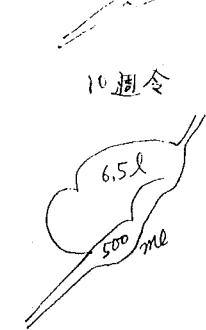
1 育成上の基礎について

(1) 各器官組織の成長勾配について

¹⁾ 資料 家畜の栄養と生理、西田周作編



(3) 子牛の消化器の発達について
資料 配合飼料 西川哲三郎



子牛は反芻胃が未発達な間（生後五ヶ月）は、反芻動物というより單胃動物に近い栄養を必要としている。この時期の子牛を初生子牛という。初生子牛は牛乳を主食とし、それ以外の飼料の消化力が著しく弱いことが特徴である。炭水化物では乳糖、ぶどう糖、麦芽糖はよく消化するが、ショ糖、デンプンなどの消化

力は弱いとされている。蛋白質では、牛六週）は、反芻動物というより單胃動物に近い栄養を必要としている。この時期の子牛を初生子牛という。初生子牛は牛乳を主食とし、それ以外の飼料の消化力が著しく弱いことが特徴である。炭水化物では乳糖、ぶどう糖、麦芽糖はよく消化するが、ショ糖、デンプンなどの消化

(2) 哺乳上の注意事項について
資料 DAIRY JAPAN' 66.3. P54

飼料給与上の注意としては、もしも飼槽の中に昨日の濃厚飼料が残っていたら、これを取りのぞいてから新しい飼料を入れるようにしないと消化不良、下痢の原因となることがある。

乾草については、粗悪な乾草を子牛に与えると、まだ発育途上の第一胃内粘膜を傷つけやすいからである。非常に早くから粗セメントの含量の高い粗剛な乾草を与えると、子牛では、小さな傷からなる創傷性胃炎が多くみられるが、これは子牛の柔い胃粘膜を硬いセメントが傷つけるもので、発育障害の大きな原因となっている。良質の乾草は早くから与えるべきで、さもない子牛はその懲るままに汚れた敷わらまで食べるようになり、これも下痢や消化不良の原因となる。

(1) 生まれた子牛をいつ親から離すのがよいか
資料 多頭化への酪農技術 鈴木嘉兵衛

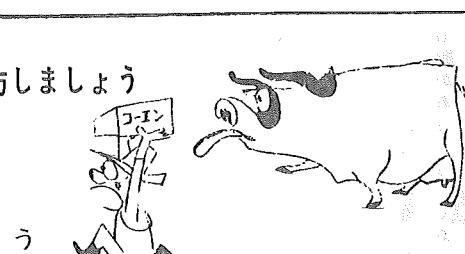
分娩後四～五日は母牛に子牛をつけておくるのがよい。その理由は、哺乳のための準備、消毒、後片づけなどの手間が省け、乳房炎の心配もなく哺乳も簡単である。バケツ哺乳をするならただちに分けるのがよい。

(2) 哺乳上の注意事項について
資料 DAIRY JAPAN' 66.3. P55

分娩後四～五日は母牛に子牛をつけておくるのがよい。その理由は、哺乳のための準備、消毒、後片づけなどの手間が省け、乳房炎の心配もなく哺乳も簡単である。バケツ哺乳をするならただちに分けるのがよい。

肥育牛に多発している尿結石症を治療・予防しましょう
固定カウストン
乳質改善 乳量増加に
毎日飴塩をあたえましょう

日本全薬工業株式会社
郡山市昭和1丁目15-23
TEL(2)5115



日本全薬工業株式会社岡山支店
岡山県津山市坪井町34
TEL(2)9251

ニューケンバイタル
綜合微生物剤
専売特許
新規特許
新規特許

松下鉱産株式会社 本社 名古屋市昭和区車田町1-38
岡山出張所 倉敷市玉島永楽町392番
電話玉島②2696番

酪農用
サイロ用

畜産昔話

(三)

杜陵畔

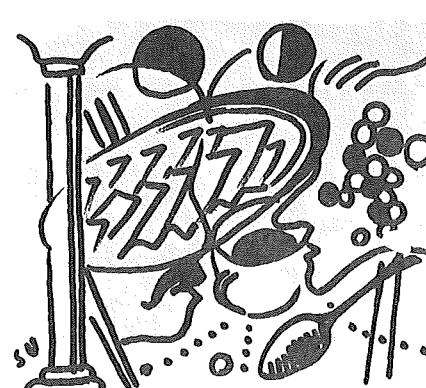
九、東牛と西牛

和牛の生産地では東牛、西牛という言葉が残っている。

東牛というものは上方(大和・河内・近江・紀伊の北部地方)の役牛であって、主として車を輶かせるので車牛ともいわれている。明治時代になると使役した後は肥育して肉牛にする用途が開けたので、岡山の牛も相当東牛として売られて行った。東牛は車牛であるから体躯などはあまり問題ではなく、大きくて強力なものであればよかったのである。

阿哲郡では昔は雄の子牛が産まれて、その子が三日うちにメエーと鳴いたらその子牛が大きくなつて自分は大津の車牛に売られて、生涯重労働に従事するのにはイヤグーと鳴くのである、といふので、早速左ないの縄で「もがた」を作つて牛につけ、車牛に行きませんようにとお金を拵ませるか、産土荒神につれて参詣したといわれている。

近頃牛商ノ者、斎牛ノ肉ヲ取交セ販



明治初年には岡山にも外国人がたくさん来ているが、明治三年に英人の電信技師が来たとき、知事が後楽園で招待しているが、その時の献立に焼肉や肉汁が出ている。牛肉を何処から手に入れたかは不明であるが、と牛場もなかつた時によく牛肉が手に入つたものであると感心もし、担当者の苦勞も判るものである。

明治十年十月二十日岡山県布達用第一号によると

近頃牛商ノ者、斎牛ノ肉ヲ取交セ販

売致ス者、間々有之哉ニ相聞コヘ、以テノ外ノ事ニ候条、敬重可遂吟味致候ヘトモ、方今、虎列拉病流行ノ際ニ候ヘバ、人々簞ト取調出所判然セザル肉ヲ買求メザル様可相心得、此旨布達候事。

昔から上方牛とか、上方博労とか云つて、それを専門にしていた家畜商もあつて、かなりの牛が上方に送られていたようである。肉牛として肥育される牛は高野豆腐の生産地帯に売られ、豆腐粕で飼育するの肉牛として肥育され、豆腐粕で飼育するの

牛は角の悪い牛とも云われていた。放牧された牛は性質もよく、強健で飮食いもよいので、この地方では喜ばれたということである。

それにしても産れた子牛が車牛はイヤだーと鳴くというので、神参りをしたりするところは、牛が如何に家族の一員として飼われ、大切にされていたかがわかる面白い話である。

西牛というのは備後、安芸、石見地方に売られて行く牛で、これはなかなか条件がむつかしかった。阿哲畜産史によると、「角は細目な新月形の角立で、顔の容は美しい、頸・肩・脚まで前躯の特に

勝れた、きりょうのよい別嬪で、従順な資質のもの、特に角のよい牛という条件である。」と記されている。

このようにして、角の悪い牛は東牛と角がよいことは、これらの地方では昔から供養田植が行われ、当日は附て、それを専門にしていた家畜商もあつて、かなりの牛が上方に送られていたよ

うである。

阿哲地方の家畜商は牛を貰つて来ては

近の村の牛持ちが牛を飾り引出したので、引も自ら区別されし、取り扱う家畜商も違っていたのは面白いことである。

岡山の牛も全国的に販路が拡張され

た今日では、このような販路による牛の

筋角そして立派な角に仕上げて売つたも

わられたらしい。

阿哲地方の家畜商は牛を貰つて来ては

角の悪い牛は見場が悪いというのできら

れられたらしい。

阿哲畜産史によれば、引も自ら区別されし、角の良い牛は西牛として売られ、取

り扱う家畜商も違っていたのは面白

いことである。

岡山の牛も全国的に販路が拡張され

た今日では、このような販路による牛の

筋角そして立派な角に仕上げて売つたも

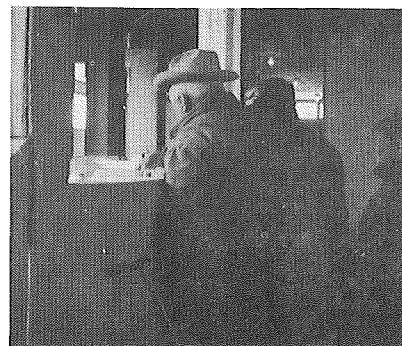
わられたらしい。

阿哲地方の家畜商は牛を貰つて来ては

角の悪い牛は見場が悪いというのできら

れられたらしい。

阿哲地方の家畜商は牛を貰つて来ては



オーフリツジス支配人口ーダーさ

は支配人まかせとなつてゐる。支配人の頭は銀髪で、縦横のある立派な身体の持ち主、名前をローダーさんと呼び、温厚な紳士である。中折帽子をかぶり、自分が先にたつて案内役を買ってくられた。彼の車には愛犬シエパードがお伴をしていた。牛も接する人によるのか、この農場の牛は格別おとなしく、よく教え込まれていた。

十一 オーラクリツシア農場



農場がある。

初めてホルスタインが輸入され、三年後にホルスタイン協会が創立された。現在のカナダ乳牛の七五%程度がホルスタイン種であり、その他にジャージー、ガーディー、乳用ショートホーンが飼われている。

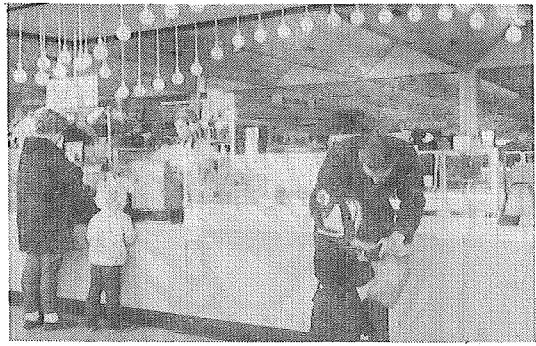
息牛でカウンテス生産乳量二〇七、〇五〇ポンドからとられた九、〇六二ポンドの脂肪生産量は、二〇年間も破れなかつた世界記録である。

現在のカナダホルスタインの改良は、農民の乳牛に対する鋭い觀察力、温情、育成のきびしさ、常に変らぬ努力の積み重ねによるものであり、全体的に体格の大きい、良い形の大きい乳房、とりわけ腰角、座骨間が長く、後軀がよく発達している。生産性の高いものがそろつていることを誇りとしている（このことはすぐれたブリーダーの牛についていえる）。またカナダでの乳牛の約八〇%がオンタリオ州に集中飼育されている。

からカナダ機に乗る。トロントまで所要日曜日だった。シカゴの宿舎オハラ・イン・エヤー・ボートを出てシカゴ飛行場に、身を切るような寒いところだったといふ印象が強く残っている。

トロント市については二月十一日のあらましを述べたが、カナダ滞在の一〇日間というものは何分嚴寒時だっただけ

農場



防寒衣を買ったショッピングセンター

時間約一時間三〇分、機内で軽い食事が
できる。トマトジュース・卵焼き・ハム・
ケーキ・ミルクといったものであつた。
機内の人々の服装は寒さに堪えられるよう
皮ジャンバーを着ている者、女子は温か
そうな帽子または布をスッポリかぶり、
靴はブーツをはいている者が多かつた。
トロントは一面の雪におおわれていた
が、それほど多いものでなく、道路はキ
レイに掃き清められたようすがなくな
っている。カナダもウィスconsin地方
と同じく塩水をまいてあるとの話しだっ
た。そのため自動車のいたみがひどいの
で、そのいたみを防ぐのに特種塗料が車
に塗られている。車の窓ガラスの雪カキ
も車内にそなえつけられていた。しかし
田舎にはいると雪があるので、スノーダ
イヤでないとスリップの危険がある。
カナダを訪れる日本人酪農家やその関
係者の数が最近増えている。一流農場に

は日本青年の実習生が二、三人は働いて
いる。

(その十一)

ハナオ アンド ナガイ

SQUIBB 増体と肉質の改善にすばらしく効



天然ホルモン肥育剤(耳根皮下移植剤)

シバベックス

輸入元 日本スクイフ"株式会社 発売元 昭和薬品化工株式会社
東京都港区赤坂3丁目2番6号(赤坂中央ビル) 東京都中央区宝町1-5(味の素第一新館)

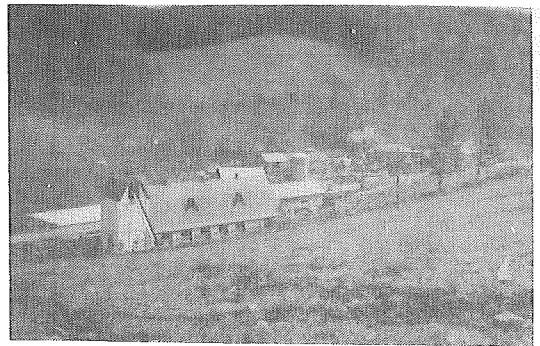
“酪農・養鶏機ならおまかせ下さい”

農業機械ならなんでも揃う店

岡山市柳町一丁目一の一七

小六農機株式會社

TEL 岡山②40307(代) 岡山市外専用 110
営業所 高梁・金川・児島

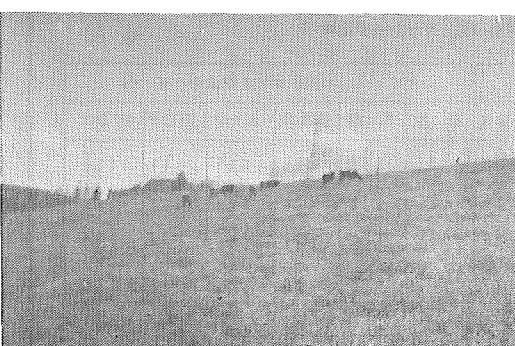


畠中さん宅の牛舎全景

飼料も、たん白質等は二十日までに徐々におととして、今はふすま一頭一ヶ月とえているだけである。やはり北海道は、粗飼料が良いから、牛もからだを維持できるのだろう。

ようやく二カ月目をむかえ、まだ研修内容が習得できない私にとって、毎日がつらくもあり、また注意のされどうしで神経の休まる日がなかつた。すごい意気込みで渡道したが、はたしてつとまるのだろうかと思う日が幾日もあつた。だけど何とかがんばつてきた。

こうやって両親、友人達とはなれていると、過去のことが思い出され、つい淋



放牧地の状況

北海道に渡って

北海道上川郡東神楽町

横山博士

「六月報告」

五月十一日から放牧に出した。緑の山々、そのあたりに青々と茂った牧草、その中に数頭の牛が草をかみながらたわむれている、実にほほえましい風景だ。

この月二頭の牛が分娩した。両方とも雄。出産後、七日目ぐらいで血乳が止まるのだけれど、早くとまり四日目で出荷した。現在搾乳三〇頭、乳量五〇〇kg前後、五月の一 日平均乳量は五一一kgであった。四月より約八〇kg多くでいる。やはり放牧の関係であろう。

飼料も、たん白質等は二十日までに徐々におとし、今はふすま一頭一kg與えているだけである。やはり北海道は、粗飼料が良いから、牛もからだを維持できることだろう。

白金模範牧場を見学して

に来ている私のと同じ研修生の山崎君（長野県）と三人で見学を行った。

東神楽町から車で約二時間、同じ郡内白金町にある。牧場に着いたのが午前一〇時頃。小高い丘の上にある牛舎の数々広々とした放牧地、機械設備はまるまるほどあり、牛舎内を見学するのに疲れるほどの広さだった。ステールサイロが六基そびえたつており、名前のとおり、いかにも模範的な牧場と言えるようであつた。



五月耕作

北海道千才市長都 戸田 肇方入典

戸田
肇方入

根 勉

九

一五
五月
幸合

先の異常天候で牧草が短い。
　放牧風景をみて、酪農にはやはり広い
　土地が必要なことを実感として感じ、う
　らやましいと思つた。
　他の酪農家を見て感じたことは、有名
　牧場（町村、黒沢等）は酪農家（農家）
　という感じをうけないことだ。事実会社
　組織でやっているのだそうだ。
　今月で研修も二ヶ月間、ようやく生活
　にもなれた。いろいろ失敗をしてしまっ
　たが、こんごの研修に生かしてがんばり
　たいと思つてゐる。

今月より乾草作業が始まった。その一



墨沢牧場にて

反面、除草（ビート、コーン）はぜんぜん機械力が入らず人力で行う。このためデントコーン五ha、ビート八〇aの除草はきつい。しかも乾草作業とかちあうのでより多くの労力を必要とする。そのため雇傭労力を入れなければならない。この除草作業を、除草剤などを利用して

追会でもよい牛ばかりで、やむなく北海道酪農の中心地という感じがあつた。

貰した機械力には目を見張るものがある。なんとか車くてきないものかと思つモアード刈り取り→ハイコンディショナルーで反転→二と三日小山に積む(バックレーキで集草)→天気のよい日にひろげてハイベーラー(八人協同)で結束する、

貰した機械力には目を見張るものがある。なんとか車くてきないものかと思つモアード刈り取り→ハイコンディショナルーのよう一貫した機械力と、その反対の旧態然とした作業がまざつており、北海道酪農もまだまだ考えなければならない面が多分にあるよう感じた。

